

令和 6 年度入学試験問題

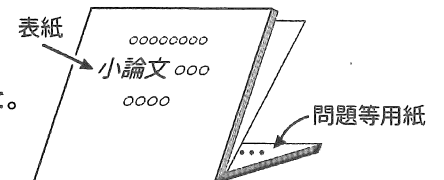
小論文（歯学部歯学科） 8 5 5

（後期日程）

表紙も問題・解答用紙もすべて
表面のみに印刷している。

（注意事項）

1. 問題用紙，解答用紙および下書き用紙は，解答開始の指示があるまで開かないこと。
2. この表紙を除いて，問題用紙，解答用紙および下書き用紙は各 2 枚である。
用紙の折り方は図のようになっているので注意すること。
3. 解答は，解答用紙の指定された番号の解答箇所に横書きで書くこと。指定された解答箇所以外に書いたものは採点しない。また，裏面に解答したものも採点しない。
4. 解答開始後，各解答用紙の「受験番号」欄に受験番号をはっきりと記入すること。
5. 下書き用紙を含め，配付した用紙はすべて回収する。



小論文（歯学部歯学科） 8 5 5

問題用紙 その1

第1問 次の文章を読んで、下の問に日本語で答えなさい。

ペルシャワールでの我われの活動のふりだしは、「らい根絶計画」への参加であった。1982年12月、私の初期の派遣団体であった JICS（日本キリスト教海外医療協力会）の意をくんで、ペルシャワール・ミッション病院を視察したことがある。

じつはこの時、病院側がほしがっていたのは外科医や内科医で、一般診療部をたてなおすことが強い要望だった。だが私の目をひいたのは、病院の片隅におかれている貧弱な20床のらい病棟だった。その翌年に北西辺境州政府の手による「らい根絶5カ年計画」がスタートし、ミッション病院もその一翼を担うということを知った。

ペルシャワール市内にはほかに、ペルシャワール大学のカイバル医学校と付属病院、研修病院があり、いずれも1,000床ちかい大病院で、医師も医療技術者もたくさんいた。しかも医師の急増で「失業者」がでるという予測さえあり、内科や外科の一般診療ならば何も外国人の医師が来る意義があるのかという印象を受けた。私が考えたのは、無医地区の医療問題はあくまで地元の医療行政問題であって、外国人がその興味のおもむくまま「活躍する」とあっては、周囲のバランスをくずし、有効な協力とはならないということである。

現地のゆきとどかぬところを補い、地元がやりたくてもできないことを支えるのが協力というものである。外国人が自国で喝采を浴び、地元でひんしゆくを買うという事態も多い。そこで「人のやりたがらぬことをなせ。人のいやがる所へゆけ」というのが指針で、よりニーズが高いにもかかわらず力が注がれていない、らい病棟に努力を集中するよう私は決めた。

内科や外科ならば、水準が高いとはいえなくても多くの医師が現地にはいる。しかし、らいとなれば、パキスタン全土で数万の患者をかかえながら全国で専従医師5名、うち外国人医師3名という状態で、当時北西辺境州には皆無であった。外国人医師としておもむく意義を思えば、これは当然の決定だった。また、ほとんど何もないらい病棟で、わずかに数名のスタッフたちが悪戦苦闘しているさまは、見捨てておけない状態でもあったからである。

（中略）

私は一介の臨床医で、もの書きでも学者でもありません。ただ、生身の人間とのふれあいを日常とする医師という立場上、新聞などでは伝わらぬ底辺の人びとの実情の一端を紹介することができるだけです。時に「極論」ととられたりすることもあります。これは私自身が現地に長くいて、西欧化した日本の人びとと距離を生じているせいかもしれません。私の極論というよりも、現地庶民の一般的な見方・感じ方だと思ってもらったほうがよいかもしれません。

とくに国連の評価などは、日本と現地とでは180度異なっています。ただ私が意図したのは、国連やODA（政府開発援助）をこきおろしたり、ジャーナリズムや流行の尻馬に乗って国際貢献を議論することではありません。この激動する時代のまただ中で、日本列島のミニ世界だけで通用する安易な常識を転覆し、自分たちだけ納得する議論や考えに水を差し、広くアジア世界を視野に入れたものの見方を提供することです。

真剣に考えればぞっとするような問題でさえ、「21世紀に向けて」だの、「グローバル」だの、「地球にやさしい」だのという流行語で、うわべをよそおって安心しているのが日本の現状だと思えてならないからです。

「アフガニスタン」は、このような日本の現状とまったく対照的な世界です。貧困、内乱、難民、近代化による伝統社会の破壊、人口・環境問題など、発展途上国の悩みすべてが見られるだけでなく、数千年を凝縮したさまざまな世界がそのまま息づいています。近代化された日本でとうの昔に忘れさられた人情、自然な相互扶助、古代から変わらぬ風土——歴史の荒波にもまれてきた人びとは、てこでも動かぬ保守性、人間相応の分とでもいうべきものを身につけています。

ここには、私たちが「進歩」の名の下に、無用な知識で自分を退化させてきた生を根底から問う何ものかがあり、むきだしの人間の生き死にがあります。こうした現地から見える日本はあまりに仮構にみちています。人の生死の意味をおきざりに、その定義の議論に熱中する社会は奇怪だとすらうつります。

（中村 哲 「アフガニスタンの診療所から」より抜粋、一部改変）

＜語句の説明＞ らい：ハンセン病。結核菌に似た抗酸菌による慢性の細菌感染症

問 本文から読み取れる「医療を通じた国際貢献」の意義について、400字以内で述べなさい。

小論文（歯学部歯学科） 8 5 5

問題用紙 その2

第2問 次の文章を読んで、下の問に日本語で答えなさい。

“The Mouth as the Gatekeeper for Overall Systemic Health”

著作権の関係により非公開

(Trends in Molecular Medicine 2021 年 27 巻 5 号より抜粋、一部改変)

<語句の説明>

dental caries: 虫歯、deciduous: 脱落性の、cancerous tissues: がん組織、oral cavity: 口腔、microbiota: 細菌叢、periodontitis: 歯肉炎、sepsis: 敗血症、diabetes: 糖尿病、ulcers: 潰瘍、immunocompromised: 免疫不全の、oral hygiene: 口腔衛生、dentin: 象牙質、cementum: セメント質、dental pulp: 歯髄、periodontal ligament: 歯周靱帯／歯根膜、malnutrition: 栄養失調、stem cell: 幹細胞、differentiation: 分化

問1 本文を 400 字以内で要約しなさい。

問2 本文の内容を踏まえ、「歯科医師の役割」について 150 字以内で述べなさい。

小論文(歯学部歯学科) 855

解答用紙 その2

第2問
問1

	1				5					10					15					20					25
1																									
4																									100
8																									200
12																									300
16																									400

問2

	1				5					10					15					20					25
1																									
4																									100
																									150